

まるごとまちごと ハザードマップ

日頃から水害時の避難行動を意識していた
だくため、淀川が氾濫した時の浸水する深
さを現地に表示しています。



想定浸水深
Flood Water Depth (Projected)
河水泛滥时的水深(假定)
예상 침수 깊이

この場所は淀川が氾濫すると
2.0m浸水する可能性があります

 防災ポータルサイト (高槻防災)
各種防災情報を確認できます
携帯電話等で左の二次元バーコードを読み取りください

高槻市 / Takatsuki City
淀川河川事務所 / Yodogawa river office
R4.1

城内公民館



看板の見方



淀川が決壊した場合に、この場所が△のライン（深さ2.0m）まで浸水する可能性があることを示しています。

防災ポータルサイト
(高槻防災)



携帯電話等で、二次元バーコードを読み取ると、様々な防災情報に簡単にアクセスできる防災ポータルサイト（高槻防災）につながります。

教えてください！

淀川以外の河川や、この場所以外の深さはわかりますか？

防災ポータルサイト（高槻防災）から、水害・土砂災害ハザードマップを確認すると、淀川以外の河川や、この場所以外の想定される浸水状況を見ることができます。

必ずこの高さ（深さ）まで浸水するのでしょうか？

シミュレーションの結果（予測）であることや、実際の雨の降り方で変わりますので、一つの目安としてください。

ハザードマップの高さ（深さ）とちがうのはなぜでしょうか？

ハザードマップの浸水区分（0～0.5m、0.5～3.0m、3.0m～5.0m、5m以上）より、詳細な表示となっています。

いつ、どこに逃げたらいいか、何で確認できるのでしょうか？

災害時には、市ホームページや、防災ポータルサイト（高槻防災）の「緊急・災害情報」から確認できます。平時より、水害・土砂災害ハザードマップで、避難のタイミングや開設される避難場所などを確認しましょう。

